

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月(4月)の予報

平成21年度 予報第8号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

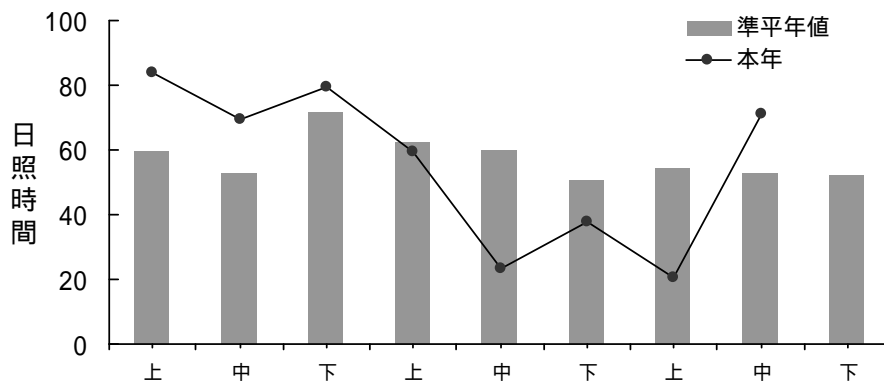
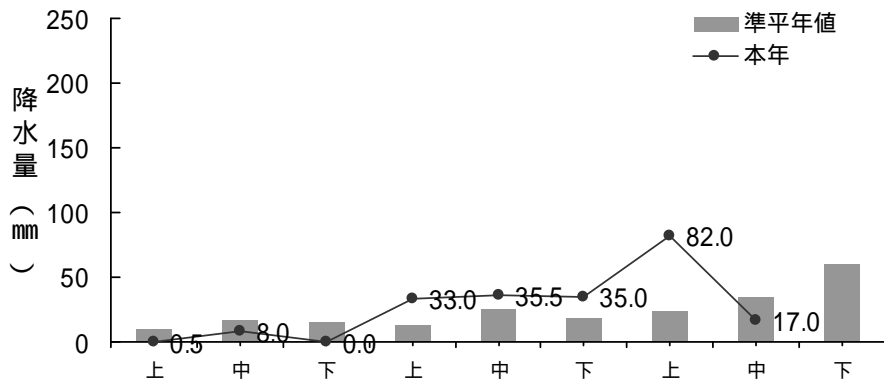
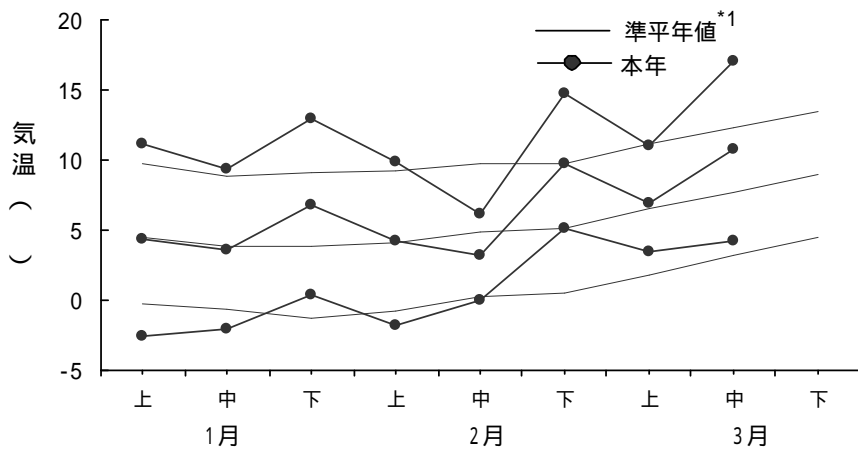
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2010年3月26日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	40	30	30
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の3月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1979-2000 の平均値, *2: 1987-2000 の平均値

近年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかとなり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、2002年12月に農薬取締法が改正され、2003年3月10日からこの改正法が施行されました。主な改正点は、

無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）

農薬使用指針に違反する農薬使用の禁止

罰則の強化など

であり、農薬を製造・輸入・販売・使用するすべての国民に関する内容です。

農薬は農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>）の「農薬コナ」をご覧ください。

改正農薬取締法の施行により、農薬登録の適用作物名「はなやさい」は、カリフラワーの別称で、ブロッコリーを含まないと定義されました。「ブロッコリー」および「カリフラワー」では使用できる農薬が異なりますので注意をお願いします。

ディプレックス乳剤はブロッコリーでは使用できません。

【病虫害発生予報】（各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す）

・果樹の病虫害

1. ナシ赤星病

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

1) 昨春の発生は平年並みであった(±)

2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(-)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い適期を逃さないように防除する。

2) 薬剤散布は降雨の前後に行う。

・茶樹の病虫害

1. カンザワハダニ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

1) 巡回調査では、寄生葉率は8.3%と調査定点の平均値6.6%よりもやや高く、発生程度は平年並であった。

2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

1) 4月中旬より個体数が増加すると考えられるので、萌芽前に防除指針に従い防除する。

. 野菜の病害虫

1. トマト灰色かび病（施設）

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや多い(+)
- 2) 今後、昼夜間の温度差が大きくなり、本病の増加期に入る(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病果実などを施設内に放置しない。
- 2) 防除指針に従い防除する。

2. トマト葉かび病（施設）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、平年並みであった(±)。
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 病斑の多発した下葉は除去する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

3. ネギさび病

予報内容

発生量 並～やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少なかった(-)。
- 2) 昨年、秋期の発生は少なかったが、冬期に発生が見られた。越冬菌密度は平年並みと考えられる(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生初期に防除指針に従い防除する。

4. イチゴ灰色かび病（施設）

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや多い(+)
- 2) 今後、昼夜間の温度差が大きくなり、本病の増加期に入る(+)
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発病果や枯死葉を放置しない。
- 2) 摘花、摘葉した傷口からも発病しやすいので注意する。
- 3) 防除指針に従い防除する。

5. コナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、現地圃場での発生量は少ない(-)。

- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
 防除上考慮すべき事項
 1) 苗圃では、防虫網などを利用して、成虫の侵入を防止する。
 2) 防除指針を参考にして、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

6. コナジラミ類(施設)

- 予報内容
 発生量 並
 予報の根拠
 1) 巡回調査によると寄生葉率は 18.0% と平年値の 11% よりもやや高い(+)
 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
 防除上考慮すべき事項
 1) 今後気温の上昇と共に増加するので、防除指針に従い適期防除を行う。
 2) タバココナジラミが確認された圃場では、バイオタイプ Q に効果のある薬剤を散布する。

7. ハモグリバエ類(施設)

- 予報内容
 発生量 やや少
 予報の根拠
 1) 巡回調査によると、ハモグリバエの発生は各地とも少ない(-)
 2) ハウストマトや育苗中の果菜類などのハモグリバエ類の発生は少ない(-)
 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
 防除上考慮すべき事項
 1) 防除指針に従い防除する。

8. ホウレンソウおよびコマツナのモモアカアブラムシ

- 予報内容
 発生量 やや少
 予報の根拠
 1) 巡回調査によると各地の露地栽培での寄生虫数は 0 頭/株で、例年の 0.8 頭/株よりも少ない(-)。
 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
 防除上考慮すべき事項
 1) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

9. ネギ・タマネギのネギアブラムシ

- 予報内容
 発生量 少
 予報の根拠
 1) 巡回調査によると各地の寄生株率は昨年と比べて少ない(-)。
 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
 防除上考慮すべき事項
 1) 防除指針に従い防除する。
 2) ネギアブラムシは萎縮病を媒介するので注意する。

10. イチゴのハダニ類(施設)

- 予報内容
 発生量 並
 予報の根拠
 1) 巡回調査によると寄生株率は 48% と昨年の 26% に比べ高く、寄生虫数は中程

度である（+）。

2）気象予報によれば気温は低く，降水量は少ないと予想される（±）。

防除上考慮すべき事項

1）今後気温の上昇と共に増加するので，防除指針に従い適期防除を行う。

東京都病害虫防除指針：最新版をご覧ください

防除指針オンライン版では平成 21 年版を公開中です

（防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい）

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネット上の防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。